



第71号

●主な記事

平成29年度行事のご案内
支部・同期会・OB会日より
母校近況・寄贈図書

平成29年6月12日発行

一般社団法人 長野高等学校金鷄会

事務局 ☎(026)235-3822

発行人 加藤 久雄

編集人 桃林 聖一

URL

<http://www.kinshi.org>

E-Mail

dousoukai@kinshi.org



ご挨拶

会長 加藤久雄（高13回）

今年の信濃路は春の訪れが少し遅かったのですが、5月を迎え一気に新緑の良き季節となりました。同窓会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、長野市は今年、市制施行120周年の記念すべき年を迎えました。人口3万人で1897（明治30）年4月に発足した長野市も、今や人口38万人の地方中核都市として発展しております。長野高校も2年後には同じく創立120周年を迎えんとしております。今年度より、いよいよ実行委員会を組織するなど準備に取りかかりたいと考えております。母校は現在、SGH（スーパーグローバルハイスクール）の指定校として4年目を迎え、地元長野市・長野県を世界に向けて発信し、ローカルとグローバルを繋ぐ新たな知の営みを模索しているということです。世界で活躍でき

る知恵と知識を磨き、世界と長野を結びつけてくれることを期待しております。

同窓生の皆様には、母校長野高校のためにひとかたならぬご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。SGHの募金では初年度1,000万円を超える額に達し、昨年度も個人で100万円を寄付してくださる方もおり、SGH活動に大いに役立ててくださるよう母校に全額寄贈いたしました。野球部に対しても一同窓生から高額の寄付を賜り、雨天練習場を一新したと聞いております。また、昨年度より会費を3,000円に値上げさせていただきましたが、多くの皆様にご協力を賜りまして、例年以上の会費収入を確保することができております。今後とも母校の発展のために絶大なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

桜とピアノ



神聖なるピアノ

1899年（明治32）長野県立長野中学校が創立された年の秋、初代校長三好愛吉は全校生徒に対し、一冬の間、薪炭を焚かずに過ごして費用を捻出し、ピアノを購入しようと提案した。生徒達はこれに応え寒い冬を耐え抜き、フランス製ピアノ「プレイエル」を購入した。以来このピアノは本校質実の気風の象徴とし、「神聖なるピアノ」の名を冠して伝承されている。



桜とピアノ

学校長 原 良通

平成29年4月より長野高校に着任いたしました高29回卒の原良通です。よろしくお願いいたします。縁あって母校勤務となりました。精一杯尽力したいと思います。同窓の皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

今の校長室の窓からは校地の南側にある桜の並木を見ることができます。以前は校庭の南側でしたが、今は校舎改築で校舎の南となりました。今年も相変わらずみごとな花が咲きました。長野高校で学ぶ生徒や職員は変わっていきますが、桜は昔と同じように花を咲かせてくれています。その桜に同窓生の皆さん一人ひとりそれぞれの思い出があるのではないのでしょうか。私はこの桜の下でクラス写真を撮ったことが鮮明に思い出されます。長野高校の歴史を感じられる桜です。古くなった大きな幹や枝は剪定されていますが、代わって若い枝が伸びています。これからの生徒もこの桜に思い出を重ねることでしょう。大事にしていかなければとの思いを強くしています。

長野高校の歴史といえば、「神聖なるピアノ」がいま校長室にあります。音は出ますが、調律をしないと演奏はできないようです。校長室にあるせいか、

存在を知らない生徒が多くいることに驚きました。私自身、創立当時薪代を節約して購入した程度のいわれは知っていましたが…。

最近になってこのピアノの戦後を知りました。昭和22年に本校の教員となった依田和彦先生が、音楽室の片隅でほこりにまみれていたこのピアノを分解修理されたこと（先生はこのピアノがフランスのプレイエル社製で世界的にも有名なピアノであることを昭和23年12月9日付けの長野北高新聞に「世界的名古典楽器 専門家も驚嘆す」と題して寄稿されています）、その後、このピアノ修理をきっかけに先生はピアノ調律師の道に進まれたこと、創立百周年で再び依田先生が調律をされたこと（その後先生はご自身所有のスタインウェイを本校に寄贈されています）などです。

こうした歴史を持つピアノですが、使ってこそその楽器です。再び調律して演奏できるようにしたいと考えています。できれば多くの生徒にも弾いてもらいたいものです。そして生徒たちにこのピアノの音色とともに本校の伝統を感じてほしいと思います。

時代は移り変わりますが、「長野高校であること」の意味を求め、桜とピアノに見つめられながら、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

母 校 近 況

● 最近の進路状況

全日進路指導係 横山智典

平成28年度卒業生281名（284名）（カッコ内は昨年）のうち大学合格者は201名（217名）、合格率は71.5%（76.8%）、大学進学者は179名（189名）でした。近年は現役志向が強く、卒業生の3分の2近くが現役で進学するという状況が続いています。国公立大学の現役合格者は134名（157名）で、卒業生の約半数となっています。また、国公立医学科へは、現役浪人合わせて17名（14名）が進学しています。本校生徒は「行ける大学」ではなく「行きたい大学」への進学を目指している者が多く、意識の高さが

学習意欲や受験勉強の取り組みに好結果をもたらしているものと考えられます。

東京大学の合格者は現浪合わせて13名、現役の合格者は9名で、今年度初めて2名の推薦入試による合格者を出しました。本校の活動の中には、文科省指定のSGH（スーパーグローバルハイスクール）をはじめとして生徒が能力を発揮する機会が多くあり、それらの活動にしっかりと取り組んできた成果が評価されたものと思います。

昨年度は同窓会より進路室にコピー機を設置し

ていただき、生徒の進路指導に大いに役立ちました。また、学部学科研究会、東大セミナー、東北大・筑波大セミナー、各種研修会等、同窓生の皆様

ご協力がなくては成り立たない行事が多くあり、この場をかりて感謝を申し上げるとともに、今後の益々のご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成28年度金鷄賞 長野高校クラブ活動近況

長野高等学校金鷄会では、今年も同窓生の皆様からいただいた会費をもとに、現役生のクラブ活動支援ということで、総額40万円の金鷄賞を活躍した班に贈呈しました。

1. 金鷄優秀賞

- ・陸上班 7万円
〈インターハイ〉男子400mH出場
〈県大会〉4×400mリレー優勝
- ・ECC班 7万円
〈全国高校生英語ディベート大会〉ベスト4

2. 金鷄優良賞

- ・水泳班 4万円
〈北信越大会〉出場
- ・剣道班 4万円
〈新人戦北信越大会〉女子団体出場



- ・女子排球班 4万円
〈全国高等学校ビーチバレーボール選手権〉出場
〈新人戦県大会〉ベスト8

・合唱班 4万円

〈長野県合唱コンクール〉1位
〈中部合唱コンクール〉出場

・かるた班 4万円

〈長野県大会〉優勝 〈全国大会〉出場

3. 金鷄奨励賞

- ・新聞部 1万円
〈全国高校新聞年間紙面審査賞〉優良賞
- ・放送部 1万円
〈NHK杯全国放送コンテスト全国大会〉朗読部門準々決勝
- ・羽球班 1万円
〈新人戦県大会〉ベスト8
- ・ソフトテニス班 1万円
〈新人戦県大会個人戦男子〉ベスト8
- ・吹奏楽班 1万円
〈管楽器個人・重奏コンテスト〉本大会出場
- ・管弦楽班 1万円
〈テレビ出演等による活躍〉

4. 金鷄特別賞

個人を対象に、32名の生徒に賞状と記念品を贈りました。

平成28年度 長野高等学校教育設備改善のための委員会 会計報告

収入

(単位：円)

科 目	決算額
募金	1,055,720
雑収入	60
前年度繰越金	8,089,836
合 計	9,145,616

支出

(単位：円)

科 目	決算額
I C T環境整備 P Cリース代、ノートP C & ソフト	2,407,212

フレッツ利用料	82,944
善光寺グローバルサミット 宿泊費・食費、器材費、保険料	313,310
フィールドワーク交通費補助	71,420
生徒派遣費	17,990
印刷費	68,860
雑費 振込手数料等	1,512
予備費 ステープラー付き丁合機	117,240
次期繰越金	6,065,128
合 計	9,145,616

● 剣道班 「先輩方に支えられて」

3年 班長 五十嵐開智

同窓生の先輩の皆さん、こんにちは。私たち長野高等学校剣道班は、平成29年度、新たに7名の1年生を迎え、現在、2年生3名、3年生9名の合計19名で活動しています。昨年度は、新人戦県大会で女子団体が準決勝に進出し、私たちの知る限り男女を通じて約20年ぶりに北信越大会に出場することができました。そして、この成果を認めていただき、「金鷄優良賞」を戴きました。

剣道班の歴史を紐解いてみると、平成時代だけでも、元年から3年連続でインターハイに出場しています。OB会もこのような現役生の活躍を支えるために30年程前に発足したと聞いています。OBの皆さんの中には現在も大学や警察で活躍されている方が数多くおられ、毎年1月2日に行われるOB稽古会には道場一杯に先輩方が集まります。中には、貴重な休日を返上して私

たちの練習に駆けつけてくださる先輩もおられます。さらに、今年3月には、日頃の練習で破れた太鼓の修理をしていただきました。その贈呈式の際は、OB会に伝わる日本刀を拝見させていただき、青木会長には居合による試し斬りの演武を披露していただきました。

多くの先輩方に見守られて日々の活動が続けられていることに感謝し、伝統校の名に恥じないよう、また、昨年度の結果を上回れるよう稽古に励みたいと思います。今後も、ご指導・ご支援をよろしくお願いします。



「米国リーダー研修」を終えて

引率教諭 矢澤徳夫(英語科)

3月11日(土)～17日(金)の「米国リーダー研修」には37名の生徒が参加し、無事終了いたしました。

12日のボストンは、零下11度(体感-20℃)の寒さ。雪のハーバード大学の、息を凍らせてのキャンパスツアーからスタート。その後、ハーバード大学生との交流行事へ。「なぜこの大学を選んだのか」「自分の得意ではないことを学ぶにはどうしたらいいのか」など、最初は静まり返っていた教室も徐々に生徒の質疑応答で熱を帯び、ツアー最初のクライマックス、長高生による英語プレゼンテーションへ。SGHの課題研究をベースに準備してきた成果をハーバード生の前で披露。大学生の的を射たコメントに一同納得。13日はMIT(マサチューセッツ工科大学)を皮切りにアメリカの古都ボストン市内を見学。前日の緊張から解放されて、皆、晴れやかな表情でした。夜にニュージャージー州に到着。が、14日、心配された「モンスターブリザード」が現実となり、全員、ホテルに缶詰めに。楽しみにしていたミルバーン高校との交流はキャン

セル。代わりに現地の高校生とSkype(テレビ電話)での交流に。一步もホテルから出られなかったのに、この時の長野高校生の学ぶ姿勢と意欲には感動しました。15日は真っ白なニューヨークを班別行動。不運な一日も、自分たちで工夫して学びの一日に変えた生徒たち。これからの高校生活でも、リーダーとして活躍してくれることでしょう。

ご支援してくださった金鷄会の皆様へ心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。



ハーバード大学創始者John Harvardの像の前で

支部・同期会・OB会だより



東京長高金鷄会総会・講演会

歩行者天国で賑わう銀座の街に師走の慌しさが訪れた平成28年12月4日(日)、東京長高金鷄会の総会・講演会がコートヤード・マリオット銀座東武ホテルにて行われました。出席者は103名。昨年に続き、長野高校大井基成校長、同窓会(金鷄会)市川浩一郎副会長、桃林聖一事務局長に長野から駆けつけていただき、長野市長加藤久雄会長からは祝電を頂きました。

今回の演者は、澤田弘崇氏(高47回、宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学研究所)と矢島良彰氏(高19回、映像制作会社テムジン取締役CEO)。澤田氏には「はやぶさ2の目指す世界初の小惑星探査～生命誕生の謎に迫ることができるか～」と題した自身が主任研究開発員として参加しているプロジェクトについて、矢島氏には「ドキュメンタリーのすすめ」と題し、平成27年度芸術選奨文部科学大臣賞(放送部門)を受賞するなど国内外のテレビ賞を数多く受賞した豊富な経験から、ドキュメンタリーの歴史と現況についての講演を行っていただきました。

毎回のことながら、我が校から生まれた多彩な才能と努力、そしてその成果と未来につながる大き

な可能性に、胸に迫る誇りを感じざるを得ません。また、銀座の真ん中で校歌「山また山」を遠慮なく歌えることも、貴重な機会であると思えます。

今回は、昨年の役員改選で新会長となった柄澤康喜氏(高21回、MS&ADホールディングス社長・三井住友海上会長)が会長として初の参加となり、「会の発展に皆で取り組んでいきましょう」とユーモアを交えて力強く挨拶を行いました。

総会での近藤英一幹事長(高33回)の活動報告、会計担当篠原徹副幹事長(高34回)の会計報告を終え、懇親会では参加者中最も先輩にお願いするという恒例の乾杯が松本充氏(高5回)によって行われ、すぐに会場全体が和やかな雰囲気となりました。先輩後輩のつながりや思い出話に思いがけない新たな発見があったりなど、充実した時間は瞬く間に過ぎ、六川修一副会長(高26回)の先導による「信濃の国」の斉唱で、会を締めくくりました。(高36回 松宇正一)

長野高校剣道班OB新年会

恒例の長野高校剣道班OB新年会が今年も「レストランやま」で1月2日(月)に開催され、19名出席のもと盛大に行われました。

昨年6月の長野高校同窓会総会では、剣道班OBで



33回生の相澤(旧姓 宮林) 司二等空佐、航空自衛隊経ヶ岬基地司令により「大空の世界～我ら航空自衛隊～」という演題で講演されたことで、総会が大いに盛り上がったことが報告されました。また現役生から要望があった、試合や練習の合図に使う太鼓の皮の張替に費用がかかるというので、出席者全員から寄付をいただき目標額が集まりました。

もともとOB会は30数年前、初めて剣道班がインターハイに出場するというので寄付を集めるためにできた組織でした。これを機会に現役諸君の活躍を期待しております。

(剣道班OB会会長 高20回 青木茂人)

長野ライオンズクラブ金鷄会

桜には少し早かった4月10日(月)になりますが、長野ライオンズクラブに所属する長野高卒業生で結成されました「長野ライオンズクラブ(以下LC) 金鷄会」の懇親会が行われました。

LCとは年齢や業種など関係なく、社会奉仕の基本的精神のもと、労働アクト(作業)を行うことで地域社会と結びつきを持ち、「地域社会」「人」「自分」のために行動し、活動している仲間の集まりです。

今回、最年長は小林信三郎さん(高3回)から始まり、柄澤正二さん(高6回)、福島一明さん(高15回)、菊池敏文さん(高20回)、矢島利昭さん(高24回)、最年少として北澤(高44回)となり、年齢は40歳差。皆、木造校舎(現金鷄会館)で学んだ世代のようでしたが、学校周りの風景は違っていたようで、以前は周り一面が水田だったと言われても、現在の街並みからは想像もできず…(笑)。

年齢も仕事の業種も違いますから通常ならば接点のあまりないところ、こうして卒業した高校が同じというだけで話が盛り上がるのは素晴らしいことです。各々の学生当時の思い出を語りながら親交を深めさせていただきました。

今後も定期的に続けていきたいと思いますし、他のLCの方々ととの交流会もできればいいなと感じました。ぜひご興味ある方



は幹事までご連絡いただけると嬉しいです。

(幹事 高44回 北澤哲也)

高9回 東京北ラス会定例会

5月8日(月)、大手町のKKRホテルにおいて東京北ラス会を開催いたしました。高9回は長野北高最後の卒業なので同窓会は北ラス会と命名されておりますが、今年は卒業60年目となり、長野からも10名出席し総勢60名となりました。

最近の母校状況を藤島淑男君が聞いてきて伝えてくれました。即ち進学状況、全国大会にも出場している部活状況等々です。

思えば我々は小学校1年生の時終戦を迎え、戦後の貧しい時代に少年時代を過ごしました。社会に出てからは猛烈社員とか仕事仕事のジャパニーズビジネスマンとか言われながら、日本の高度経済成長時代の最初から最後まで、そのど真ん中で過ごした世代です。

傘寿を迎える歳になって酒と肴を前に語り合えば、



高9回 東京北ラス会定例会

お互いの人生が重なってくるというものです。そんな思いで「山また山」も歌いました。

二次会場に移っても話は尽きず、まだまだ皆さん元気です。(細木正志)

「うばたまむし」が国会図書館に

長野高校生物班のOB誌「うばたまむし」が、国立国会図書館に所蔵されることになりました。「うばたまむし」は、昨年(2016年)12月末で9号を数え、今年も「10号」を目指して原稿を募集中です。もちろん、10号も刊行次第、国会図書館に納本する予定です。

OB誌は、2007年(平成19年)、島田知彦さん(高50回)から京都在住のOBが実働部隊と称するグループを立ち上げ全国のOBに呼びかけて初めて刊行しました。誌名は現役生物班の機関誌「吉丁虫(玉虫・たまむし)」にちなんで「うばたまむし」。「玉虫厨子」などでご存知のように玉虫はきらびやかな肢体の昆虫ですが、「うばたまむし」は形は玉虫とほぼ同型ながら、それに比べるとややくすんだ感じで長野市辺りでも見られる実在の昆虫です。

その後、3号の刊行を機に4号からは長野在住のOBが編集委員会を組織して編集・製作を引き継ぎ、ほぼ年1回、継続的に刊行してきました。

生物班のOBは、編集委員会が把握しているだけで約700人。うち50人前後が寄稿していて、9号への寄稿者は約60人。ページ数は260ページを超える分厚い冊子が出来上がり、約200冊を関係者に配布しました。

内容は、OB会の構成を反映して実に多彩です。寄稿の最年長は日米開戦の1941(昭和16)年頃、長野中学時代から現在に至る70年もの長い期間にわたっています。現役の頃は生物班でも卒業後は別の道に進んだものがほとんどで、生物だけでなくそれぞれの時代背景を反映した年齢縦断的な多様な読み物集に出来上がっています。

国立国会図書館への納本は、かねて図書館関係者から要請がありましたが、今後の継続的刊行に見通しが立たなかったため辞退していました。しかし、昨年末の段階で現

編集委員会の間で「継続」で合意が得られたため、当初予定した10号を待たずに納本しました。これにより、インターネットで筆者名を検索するとその内容が照会できるようになります。

なお、編集委員会事務局から連絡のないOBの皆様は、下記までご連絡ください。また、6～9号は、事務局に残部があります。併せて本年発行の10号への寄稿をお待ちしています。

うばたまむし編集委員会事務局

〒380-0803 長野市三輪6-20-2 牛山 洋

Tel 090-5204-9628 Fax 026-237-6614

E-Mail: gwcbd346@ybb.ne.jp

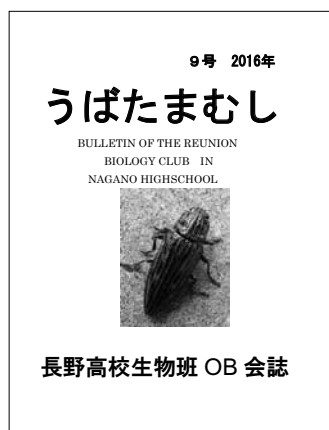
「ハバチの新種発見」のニュースが信毎に

小島治好さん(高12回)が昨年、笹ヶ峰で採集したハバチが新種と確認された一とのニュースが、2017年3月4日付信濃毎日新聞朝刊に掲載されました。ハバチは、植物の葉を食べるハチの仲間。その発生が森林等に大きな影響を与えているのではないかとされているものの生態は明らかにされていません。

小島さんは、生物班の頃から沖縄から北海道まで一貫して「日本のハバチ」一特に針葉樹を食べるハチを追いつけ、2014年9月の御嶽山噴火では、山頂直下のハイマツ帯で観察中、噴煙に飲み込まれそうになった体験もあります。

今回、新種と確認されたハバチは、昨年7月、国立科学博物館の篠原明彦博士、ドイツ国立昆虫学研究所のアンドレアス・テガー博士とともに新潟、長野両県で採取した400匹のうちのひとつ。篠原、テガー両博士がこのほど、ニュージーランドで発行されている動物分類学の国際的学術誌「Zootaxa」に共同論文を発表し、複数の研究者により確認されました。共同論文では、学名を「パキプロタシス・コジマイ」と、小島さんの名前を入れて命名。生物班時代から小島さんはこれまでに9種の新種を発見していて、うち5種に「Kojimai」の学名が付くことになりました。

(高13回 牛山 洋)



高13回 東京長高36会

「長野高校今昔」に感嘆の声

昭和36年卒の高13回「東京長高36会」新年会が1月20日(金)、東京のホテル・グランドヒル市ヶ谷で開



かれた。今年は全員が「高齢者」となる年だが、長野や関西から駆けつけた同人を含め64人が出席し、盛んな意気を示した。

1年間の物故者3人の霊に黙とうをささげて乾杯。続いて幹事クラス9組の制作によるスライドショー「長野高校今昔」の上映が行われた。

母校の校舎は1994年に建て直されたが、卒業して55年の同人は現在の姿を知らない者がほとんど。そうした仲間に「母校の今」を知らせようという趣旨だ。

昭和36年の卒業生は431人で、うち女子6人。今年度入学者は281人で、うち女子120人。そんな説明に嘆息が上がる。鉄筋3階建ての新校舎、広大な体育館などに驚きの声が続いたが、もっとも反応が大きかったのはトイレの男女別表示の写真だった。

スライドショーは新旧111枚の写真を集めた力作で上映30分に及んだが、途中で席を立つ者はなく、全員が熱心に見入っていた。

36会新年会は今回が36回目で、偶然の記念大会となった。第1回の開催を呼びかけた高池勝彦君が当時の経緯を披露。長野組代表の花岡荘太郎君がそれを受け、最後の校歌斉唱までにぎやかな会となった。帰りには全員に「長野高校今昔」のDVDが渡された。

幹事は「長野高校創立100年」のそろいのTシャツでさっそうとしていたが、創立100年は18年前のこと。売れ残りを同窓会事務局から安く分けてもらっての着用だった。(松本仁一)

長野高校吹奏楽班OB・OG会

第48回定期演奏会開催

去る3月25日(土)、長野高校吹奏楽班OB・OG(以下OB)会は第48回定期演奏会を開催いたしました。今年は昨年オープンしたばかりの長野市芸術館で行いました。

演奏会は例年通り三部からなり、第一部はOBのみの演奏、第二部は現役生のみの演奏、そして最後の第三部は現役生とOBとの合同演奏という構成で行われました。指揮は長年にわたり吹奏楽班をご指導いただいた山本昇先生をはじめ、今まで様々な形でお世話になった先生方をお願いし、幅広いジャンルの曲が演奏されました。

特に今年は、11年間吹奏楽班の顧問を務められました小林泉先生に初めて指揮をお願いいたしました。当時、小林先生にお世話になったOBの中には「小林先生とまた演奏したい」という思いで駆けつけた方もおり、皆さん懐かしい一時を過ごしておりました。

このように、OB定期演奏会は現役時代の先生方との懐かしい交流の場でもあり、またOBと現役生との世代を超えた交流の場でもあります。いよいよ再来年には半世紀となる50周年を迎えることとなりますが、この伝統を尊重し、現役生の良き目標となるようにこれからもOBによる定期演奏会を盛り上げていきたいと思っています。

〈お知らせ〉

・定期演奏会の様子は、公式サイトでご覧いただけ



吹奏楽班OB・OG会

ます。http://nhb-obog.net

・OB会事務局はOBの皆様にメルマガを配信しております。ご希望の方は公式サイトのご案内に沿ってメールアドレスをご登録ください。

(長野高校吹奏楽班OB・OG会)

高12回 節目の～記念新年会～

今年も在京組を中心として、地元長野の仲間が加わる(連続37回目)「新年会」を記念の回と銘打って例年どおり成人の日1月9日(月)に盛大に開催しました。「記念新年会」とは、①昭和32年に入学して素

晴らしい仲間と出会う60周年目、②本年3月末をもって全員元気に「後期高齢者」の仲間入りを果たしたこと、③この新年会の開催場所を青山のクラブ「ウラク」から表参道のNHK「青山荘」を経て、今回から遂に花の東京ど真ん中、銀座の昭和9年に建築され戦火を免れたレトロで趣のある「銀座クラシックホール」で開催することになったことです。当日は64名(内初参加5名)の仲間に奥様方11名が加わり、過去最高の75名参加となりました。毎回参加者が楽しみにしている書道界の重鎮、関悟君(日展会員、母校にも大作を寄贈し展示されている)から今回も「干支」の書を全員にプレゼントしてもらいました。



高12回

会は、まず物故者86名（卒業時443名の内、把握できている仲間）を偲び黙祷をささげた後、地元長野から参加した會津三郎君の乾杯の発声で開宴しました。今回は「記念新年会」特別企画として、幹事武村宏一郎君のお嬢さんでピアニスト・作曲家の武村八重子さん（写真中央、テレビBSフジ「ヒトカド」の番組ホストも務める）を招き「新春を寿ぐピアノ演奏」と題して、ショパンの名曲や自作の素晴らしい曲を奏でてもらいました。また随所で旧交を温め合い話が尽き

ない大変な盛り上がりとなり、幹事山田作衛君の次の再会を約しての「お開き」の挨拶後も皆、立ち去り難い雰囲気には終始しました。

我ら12回生の合言葉は『会える時に会っておこう！』です。幹事6人はこの合言葉の下、4回目の成人の日（80歳）までは「新年会」を続けようと張り切っております。

（撮影は写真家・轟 近夫君、文・轟 貞幸）

パズル 我に金鶏の光あり

我に金鶏の光ありにちなんで、「良い光楽しむ」という語を次の9×9のますの中に、一文字ずつ入れてください。

ヨ イ ヒ カ リ タ ノ シ ム

- ・ただし、同じ列で同じ文字を使ってはいけません
- ・同じ行で同じ文字を使ってはいけません
- ・一つの太線ブロック内で同じ文字を使ってはいけません

a～fに入る文字を答えてください。正解をもって、事務局に来てくださった方には記念品を差し上げます。

				ヨ	a		イ	ヒ
ヨ	カ						リ	タ
b		ノ			リ			シ
	イ		ム	カ				ノ
				d				
リ	c			ノ	シ		タ	
ヒ			ノ			ム		
シ		タ			f		ヨ	リ
カ	ム			ヒ			e	

みどりの学術賞を受賞

高8回の丸田頼一氏（千葉大学名誉教授）が平成29年（第11回）みどりの学術賞を受賞されました。丸田さんは長野高校から千葉大学園芸学部に進学。東京大学大学院在籍中の1960年代より、都市部の気温が周囲より高くなる「ヒートアイランド現象」の研究をリードし、自治体の公園緑地政策の推進に貢献してきたことが高く評価されたものです。長野市などでもヒートアイランド現象を検証し、各地で公園づくりに協力されました。授賞式は4月28日（金）に行われました。

平成29年度同窓会費（3,000円）のご送金をお願いいたします。

口座振替の方は6月27日（火）に引き落としとなります。本年度は高7回までの会員の方々が会費免除になります。

送金方法

■同封の振込用紙でのお振り込み

コンビニ・郵便局でお振り込みください

■銀行へのお振り込みは下記の口座へお願いいたします

●八十二銀行 長野北支店

普通 133722

一般社団法人長野高等学校金鶏会

●長野信用金庫 城北支店

普通 0031958

一般社団法人長野高等学校金鶏会

結 婚 相 談

ご希望の方は申し込み用紙を電話またははがきでご請求ください。年齢、性別、学歴等は問いません。

TEL.026-235-3822 長野市上松1-16-12 長野高等学校同窓会 結婚相談室

市民大学事業のご案内

古代史講座

主催：一般社団法人長野教育文化振興会
協力：一般社団法人長野高等学校金鷄会

於 金鷄会館大講義室

2017年 「よみがえる戦国・3」

第1回 5月13日(土)

奈良大学 文学部 文化財学科 教授 千田 嘉博 先生
「織田信長の城」-城から見た天下統一-

第2回 6月17日(土)

上田市立信濃国分寺資料館 館長 尾見 智志 先生
「真田氏の山城」-上田地域の城郭を訪ねて-

第3回 7月1日(土)

新潟大学大学院 現代社会文化研究科 共生文化研究専攻
教授 矢田 俊文 先生
「戦国期の越後と信濃」-上杉房定と上杉謙信-

第4回 7月15日(土)

山梨県立中央高等学校 教諭・武田氏研究会
副会長 平山 優 先生
「武田氏滅亡」-中部地方最大の戦国大名はなぜ滅んだのか-

Science Cafe

金鷄会館サイエンスカフェ・アートカフェのご案内

今年度は、下記の日程・内容で企画しております。会員の皆様、PTAの皆様、現役生徒、一般市民の皆様、どなたでも参加できますので、どうぞお気軽にお越しください。

◇金鷄会館サイエンスカフェ

9月9日(土) 午後1時～3時

会 場 金鷄会館 2階大講義室

講 師 中野 隆史 先生(高24回)

群馬大学大学院

医学系研究科腫瘍放射線学 教授

群馬大学重粒子線医学研究センター

センター長

演 題 「重粒子線治療の推進と

放射線医療の国際展開」(仮題)

参加費 500円(お飲み物付き) 高校生以下無料

定 員 90名

◇金鷄会館アートカフェ「陶芸教室」

9月2日(土)・3日(日)・16日(土)

午前10時～12時

会 場 長野高校 美術教室

講 師 小池 知久 先生(高50回・陶芸作家)

講 師 恩澤 謙一郎 先生(本校美術教諭)

第1回 成形(おもに手びねりで作品を作ります)

第2回 削り ろくろ体験

第3回 釉かけ 焼成後、作品はお持ち帰り頂けます

参加費 2,000円(粘土・釉薬・焼成費等実費分)

高校生以下無料

3回とも出席できる方、先着20名で募集します。
(初心者向け)

平成29年度 同窓会総会のご案内

期 日 平成29年6月24日(土)

会 場 ホテル国際21

総 会 午後2時～ 藤の間

講演会 午後3時～ 藤の間

演題 「経済誌元編集長の見た日本の企業」

講師 東洋経済新報社 総務局次長

『週刊東洋経済』元編集長

大滝 俊一 氏(高34回)

懇 親 会 午後4時30分～ 芙蓉の間

会 費 5,000円 当日受付でいただきます。

*今年度の当番は、高34回・高46回・高58回の方々です。

*出席される方は事務局へお知らせください。

回期別対抗ゴルフコンペのご案内

期 日 平成29年9月24日(日)

場 所 長野カントリークラブ TEL 026-239-3100

費 用 プレー代 13,050円(食事付き)

※優待券は使えません

参 加 費 3,000円

競技方法 新ベリア方式

☆団体戦：各回期上位3名までの団体合計成績
順位

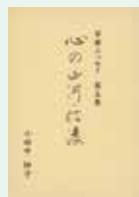
☆個人戦：個人別成績順位

申込方法 はがき又はFAXで同窓会事務局へ各回期3名以上
の連記(2組以上も可)でお申し込みください。

締切り日 9月9日(土) *25組で締切ります

※各組のスタート時刻、その他詳細については9月16日頃、
参加者にご連絡いたします。

寄 贈 図 書



写俳エッセイ 第五集
心の山河・信濃
著者 小田中 柑子(寛)氏
(長中47回)



医療・福祉の総合情報誌
JAPAN MEDICAL SOCIETY
2016年12月号～
2017年1月号～5月号
野村元久氏(高10回)寄贈



Promotion and
Sales Management
販売・プロモーションマネジメント
著者 牧野浩文氏(高12回)



小金原開墾の記録
著者 土屋 浩氏(高14回)



夏目忠雄の出発いくたび
著者 夏目雄平氏(高17回)
ほか



詩集 健康讃歌
著者 田辺 修(吉田清美)氏
(高24回)



植物はなぜ薬を作るのか
著者 斉藤和季氏(高25回)



公共経済学で日本を考える
宮澤和俊氏(高33回)共著



車いす犬ラッキー
捨てられた命と生きる
著者 小林照幸氏(高39回)



徹底検証
日本の右傾化
塚田穂高氏(高51回)編著



科学鑑定のエスノグラフィ
ニュージーランドにおける
法科学ラボラトリーの実践
著者 鈴木 舞氏(高53回)



長野高校生物班OB会誌
うばたまむし
DVD版1号～9号
花崎秀紀氏(高22回)寄贈

野球班室内練習場リニューアル 同窓生より寄付

野球班の室内練習場は、長野高校敷地の北東隅に春の甲子園出場後の昭和61年に竣工したものです。しかし建設から30年が経過し土の荒れがひどく、ネットの傷みも目立つなどしておりました。この練習場が昨年度、新たに人工芝を敷きつめ、LEDの照明や紡球ネットも新調し素晴らしいものに生まれ変わりました。これは野球部OBではありませんが、埼玉県内で自動車部品の製造業を営んでいた八木賢十郎さん(高9回)から多額の寄付の申し出があったことによるものです。1月20日に八木さんを迎え、野球部OBや校長らも参列し、八木さんに感謝状と記念品を贈り、校歌、部歌、部訓を全員で唱和し、盛大に竣工式を開催いたしました。



SGHにご寄付をいただきました。

牧野浩文さん(高12回)より、100万円のご寄付をいただきました。牧野さんは元日本コカ・コーラ株式会社取締役副社長をされ、現在、立命館アジア太平洋大学大学院客員教授として、SGU(スーパーグローバル大学創成支援事業)にたずさわっておられ、長野高校がSGH事業で活躍していることを聞き、寄付金だけでなく積極的な支援を申し出ていただきました。ありがとうございました。



TBS「ぴったんこカンカン」収録

北村晴男弁護士(高26回)と安住紳一郎アナが「ぴったんこカンカン」収録で金鶏会館を訪れました。市内を巡った後、金鶏会館で恩師や旧友と再会し、高校時代の話で盛り上がるという場面を収録しました。6月2日(金)に放映されましたが、ご覧になった方もいらっしゃいましたでしょうか。



事務局便り

- 卒業20周年同窓会(高49回・平成9年3月卒、新校舍最初の入学の学年です)は、ホテル犀北館にて8月13日(日)午後5時より開催されます。
- 卒業50周年同窓会(高19回)は、ホテル国際21にて9月23日(土)午後5時30分より開催されます。
- 卒業60周年同窓会(高9回・北ラス会)は、10月21日(土)・22日(日)、午後12時30分善光寺大本願集合、国民宿舎松代荘泊、松代史跡巡りを行います。
- 今年の金鶏祭は7月8日(土)・9日(日)が公開日です。金鶏会館では池田満寿夫ギャラリー・長野高校歴史館が公開されます。見学にお越しください。

池田満寿夫ギャラリー

金鶏会館では池田満寿夫(高4回)の作品を50点余り、常設展示しております。ぜひ、ご覧にお越しください。(平日14時～17時、それ以外の時間は予めご連絡ください。)

